

増やせ 中国人観光客

足利学校の補助職員



足利学校で働く孔さん

市が今年1月からスタ
ートさせた。市長のト
ップセールスや修学旅

【足利】史跡足利学校の「参観者倍増計画」に取り組む市は、中国からの観光客誘致を進めている。同国とのパイプ役を務めるのは、同学校の補助職員として働く孔佩群さん(35)。同学校がまつる孔子の76代目子孫だ。現地旅行会社に売り込みをかけたり、中国人向け媒体に紹介記事を掲載するなど、精力的な活動で誘客に成果を上げている。

(小野裕美子)

参観者倍増計画は、
行の誘致強化などで、
2011年の参観者数
約16万人を、8年間で
2倍に増やすのが目標

だ。国内はもとより、
海外からの観光客をい
かに呼び込むかが課題
の一つとなっていた。
そこで抜きされた
のが孔さん。中国で生
まれ、現地で専門学校
講師をしていたが、結
婚を機に群馬県太田市
に移住。足利学校には
たまたま観光で訪れ、
同学校内で孔子の教え
である論語の素読が行
われていることを知り、
感激したという。

情報発信、直接営業も

孔子の子孫・孔さん活躍

孔さんは「共に論語
を広める活動をした
い」、同学校の職員採
用に応募し、昨年度か
ら観光客の案内などを
してきた。参観者倍増
計画が始まってからは、
主に中国人観光客誘致
のための営業や通訳を
任されることになった。

2月には、在日中国
人向けの週刊紙「東方
時報」で、同学校をテ
ーマにしたコラムの連
載を開始。中国語のフ
ログを開設したり、旅
行会社と直接、営業の
電話やメールをしたり
と、誘客に積極的を取
り組んでいる。

同学校によると、こ
れまで少なかった中国
人の団体客が、週末ご
とに訪れるようになる
など、誘客の成果がみ
られるようになったと
いう。孔さんは「複雑

でもらうため、情報を
発信していきたい」と、
意欲的に話した。

下野新聞

平成24年5月4日(金)